

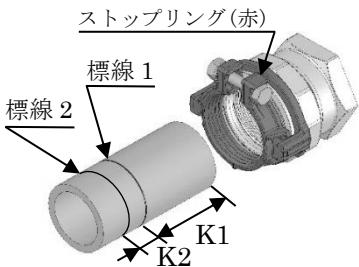
SKX-D50（キャップ当て締めタイプ）

SKX® 施工手順 (VD・PD 鋼管用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線**を2本記入して下さい。

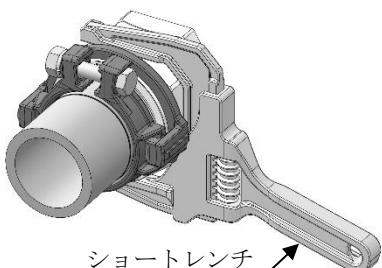
分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線1まで挿し込んで下さい。



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
 ・滑剤の塗布は不要です。
 ・管止めがある場合は、管止めから3mm以上あけて施工して下さい。

②キャップ本締め

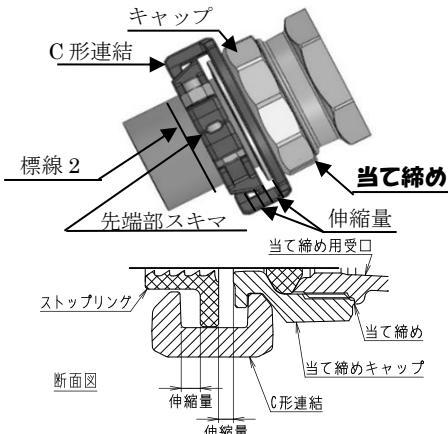
キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締めして下さい。**



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。

ストップリングが2本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリングを標準締付トルクにて締め付けて下さい。



- 注2) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
 注3) 再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

ストップリング端面が2本の標線の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの締め忘れのないように確認を行って下さい。

《管の取り外し》

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩めるだけで管と分離可能(分解不要)です。

《ねじ切り管を接合する場合の注意》

・片側をSKXで接合し、もう一方側を、ネジきり接合の為に外面被覆を剥いで接合している場合、パイプメーカーによつては、鋼管と被覆の間にて極微量の漏水を起こす恐れがあります。安全のため、管端面ならびに外面被覆と管表面の境界全周をデブコン SF(輸入・販売元:株式会社 ITW パフォーマンスボリマーズ & フューズジャパン、商品番号:DV10240)で補修してご使用下さい。

(パイプの状態についてはお問い合わせください。)

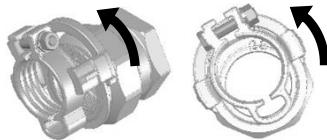
管呼び径	SR呼び径(赤)	本体・キャップ呼び径	K (mm)		キャップ 〔参考締付トルク N·m〕		ストップリング 〔参考締付トルク N·m〕	六角対辺
			K1	K2				
50	D50	D50	75	+5 -0	5	当て締め (100)	25 ~ 35	17

※太字: 下限値

SKXストップリング (SR) 交換手順

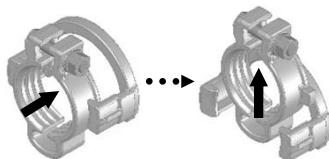
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

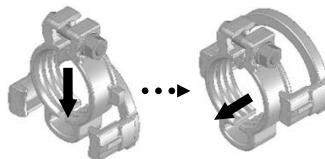
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。

